

■H25.8.31 勉強会<合同>第5回 参加者名簿 参加者アンケート結果:18名

No	1.比較評価について(グループ検討の進め方、内容等)	2.今後の予定について	その他、PI プロジェクトに関するご意見
1	評価項目自体は良いと思います。何を重視するかによって判断が分かれるかと思えます。私としては行政が責任を持てるインフラ整備の部分で最大限効果があるような事業をやりたいと思えます。		
2	最後に言いましたが、事業が1年遅れる事によって、どの位の税金のロスがかかるのか検証してほしい。又、今までの経緯が分るような書類も用意しないと、初めて参加する方に説明する時間があったくない。		
3		実現性、強制収用、工期、財政について明確に。	
4	評価の基準(ものさし)を明確に規定しないと、評価結果が全く異なるものになる心配がある。→比較ではダメ。投資金額に対して金額評価で、どのくらい回収出来るのかを明確にしなければ評価の意味が無い。		実測データに基づいて、資料をつくって欲しい。資料に信憑性が欠けている。→納得出来ない。
5	事務局の補足説明、ナイスでした。	高架化賛成、反対の人が自分の意見を発言するだけならよいが、逆の人の意見を否定する人がいるので、いつも苦痛です。それでも、出席率100%を目指してがんばろうと思います。	代理の人が今までのことが理解できないため、質問します。脱線します。いい迷惑です。代理はだまっているか、代理を認めない方法で勉強会を進めていただきたいです。
6	代理で来られる方に対するルール等の説明資料が必要であると思えました。会議が逆戻りしてしまっています。もう少し評価項目の数値の算出について、詳細の説明が資料にあった方が良く思えます。会議に参加していない人も分るような資料になって欲しいです。		いつも資料作成ご苦労様です。残り1回(?)となりましたが、次回もよろしく願います。
7	比較する為には条件を同じにしたい。原方面のデザインは何もできない。希望を聞いたらどうできるかをデザインしてほしい。その上で比較したい。		最終の結論は知事だと思うが、その結論に従うかどうか、きちんと両方の意志を確認しておかないとまた最初に戻り、反対、賛成と言いかうことになってしまう。難しいが、どこかで決まったら従う方向を考えておかないとすべて無駄になりかねない。
8	ファシリテーターの求めていた事になかなか答えられず、申し訳なく思いました。		とにかく出た意見を知事に届けて欲しいです。行政は安心安全な街づくりが第一。原地区は水害の大問題があるのにかかわらず、絵に描いた夢物語は空しいだけです。高架事業をはじめ、子や孫にツケを回さないでほしいです。大人の責任として。
9	・おおむね良いと思います。 ・もう少しデータの出抛が明らかにされても良いかと思えます。	・特にありません。	・初めて参加する方の意見は尊重しますが、これまで議論され積み上げられた事柄について何の事前勉強もなく後戻りする発言は進行を阻害します。各会から代理を出す場合は、最低限の知識とマナーを持つべきだと思います。

10	<p>(1)グループ検討の進め方 ファシリテーターの適切な進め方のお陰で、参加者が与件ごとに冷静に発言出来とても有意義だった。各人の認識は一致したものと思う。</p> <p>(2)内容等 ①資料4-1をはじめとして、示されたデータが、現行の鉄道高架事業もしくはその代替案が有利なように表現されているように思えてならない。問題は計測の前提・方法にあるのではないかと考える。 ②表中の「地域づくりの目標」欄に『市民と民間と行政が協力し合って地域づくりを進める』とあるが、現実には沼津市が完全に離脱・回避している。 ③B/Cの根拠を理解できるように示してもらいたい。</p>	<p>私は、今後の勉強会等には、沼津市民の一人として最優先で参加し、将来に禍根を残すことがないようにしていく所存である。県へのお願い：沼津市に対し「本当に鉄道高架事業をやりたいのなら積極的にデータを開示するとともに参加せよ」と強く指示するようお願いしたい。昨年の市議会で市長は『県が止めると言えば市は止めざるを得ない』と発言している。(同日、発言を撤回)</p>	<p>「公共事業とは何か」このことについて、我が国の政治家、官僚、そして事業者は単に銭儲けの対象としかとらえてこなかったと思えて仕方ない。それが1000兆円もの借金を積み上げてしまった原因だといえよう。 これまで、多額の県費＝税金を遣って、沼津高架PIの勉強会を行ってきた。財政が逼迫している中、そして優先事業としてやらなければならないことがたくさんある中、鉄道高架事業が本当に最優先事業なのかを、改めて真剣に討議していくようお願いしたい。『沼津市には本当に金がない』と何人かの市議から聞いている。</p>
11	<p>数値(データ)での比較に関しては非常にわかりやすく良かったと思います。否定する方がいましたが、私は良いと思いました。これからの時代を背負っていく若者の為にも是非ともハード面での構築を望みます。</p>		
12	<p>税金は効果的に使ったの目標の点で、「市財政の負担とならないか」の項目で、具体的に、市財政の実態、鉄道高架に関する基金の実態、現在の残額等を明確に資料として出して欲しい。</p>		<p>希望(要望):会場のA~Dのテーブルが狭いので、もう1テーブル追加して欲しい。</p>
13	<p>全体像が見えて、判断しやすかった。橋上駅の場合は、費用対効果を考えると、選択から外れてくる。</p>		
14	<p>評価項目を最終的にどう使うのか、数値化する方法を先に説明する必要がある。(実現性、費用、リスク……)マトリックスで。</p>		<p>代替案の3D画像や模型をつくって、立体的に理解できるようにすべき。沼津市の高架の模型だけでは片手落。</p>
15	<p>・「代替案」を7つに絞ったことは理解できるが、「鉄道高架」(A案)を優先的に位置づけている事務局の意図を感じる。そういう意図があるのか、ないのか、説明をほしい。 ・なぜこの時期に「高架」が必要か論じられていない。なぜ巨費を投じるのか説明を。 ・評価項目の根拠のない(500m、1kmの床面積)等は、評価項目から削除するべきである。高架の必要性とは関係がないことである。</p>	<p>・次回は、7つの代替案のメリット・デメリットについて詳しい、突っ込んだ話し合いをしたい。特に財政の問題、工事期間の問題、実現の可能性について絞りこみをしたい。 ・大事な会議であるから、PIの先生方、マスコミの方の参加を働きかけてもらいたい。</p>	<p>・高架PIプロジェクトの勉強会ということだが、「高架のPI」なのか「まちづくりのPI」なのか立脚点が不明確である。「まちづくりのPI」に重点を置く場合は、広い市民、市役所職員の参加が必要である。「高架PI」であるからには、「高架そのものの本質的」話し合いが必要である。この話し合いのないまま、高架について触れないまま進行することは許されないと考える。</p>
16	<p>物流ターミナルの従業人口の根拠がわからない。</p>		<p>ファイルがほしい。(今のファイルがいっぱいになってしまいました)</p>
17	<p>総合整備型3案に個別対応型7案、それにこの組合せ案と全体が複雑化し過ぎている。もっと絞りこむべきではないか。</p>		<p>貨物駅用地取得に行き詰ってPIとなったのに、原地区への貨物駅移転を前提とした当初案が活きているのは、用地の強制収用も視野に入れているということでしょうか</p>
18			<p>沼津市の20年後を話し合う勉強会であるのに、その20年後に生産活動をしているであろう年齢の方の参加が少ない。とても異感があります。</p>